

佐竹典明 議員



食育、食農に関する基本法を町の施政として示せ

町長 推進計画は、具体的実践を目指しながら策定

共同調理場の民営化
佐竹 共同調理場は民営化でなく、現在と同じように運営すべきと思うがどうですか。
町長 民営化になっても現場で働く人が、今と同じようにに食育・食農の重要性、必要性を思っただけならば、変わらないものと思います。

町の施政
佐竹 食育・食農の重要性を考える時、国には食育法がありますが、不足を補つものとして、町の食育・食農基本法を示せればと思いましたがどうですか。
町長 食育・食農の推進計画は、具体的実践を旨としながら策定していきます。



田んぼの学校（鮎貝小学校）

食農教育の実践

佐竹 高畠町立二井宿小学校は、学校近くの土地で野菜を育て、給食に5割使用を目指した取り組みで、東北農政局長賞を受賞しました。
町長 当町でも、給食に地元産の食材を使用していることを踏まえ、食育・食農教育についての町長の考えを伺います。

中国産食材の使用は
佐竹 現在、中国産の冷凍食品問題がありますが、共同調理場や保育園で中国産を使用しているものがあるか伺います。
教育主幹 中国産は、たけのこやわかめなど一部の食材を使用しています。
健康福祉課長 保育園は自園での給食を行っています。保育園の給食では、中国産の食材は使用しておりません。食材は、地産産物を多く使っています。

地産産物の使用拡大
佐竹 料理の工夫により、地産産物をもう少し使うことができると思うがどうですか。
教育主幹 現在30%を超えて地産産物を使用しています。地産産物の食材を使用するメ

自校での給食
佐竹 自校方式の給食も視野にいれて良いと思います。どうですか。
町長 当町の共同調理場は、

二ユーを増やすなど、納入関係者と連絡を取りながら工夫をしていきます。

ドライシステムを採用した衛生的で健康的な調理場で、栄養士をはじめ職員で知恵を出し合い、多様な献立に対応できるなど多くのメリットがあり、今までどおり共同調理場方式を推進していきます。

町長 食育とは、単に望ましい知識を身につけることだけでなく、一家団らんを通じて思いやりの心や郷土の食文化、食に関する感謝の心などを育む幅広いものであり、食を通して人づくりにあると考えています。

町長 食育とは、単に望ましい知識を身につけることだけでなく、一家団らんを通じて思いやりの心や郷土の食文化、食に関する感謝の心などを育む幅広いものであり、食を通して人づくりにあると考えています。

町長 食育とは、単に望ましい知識を身につけることだけでなく、一家団らんを通じて思いやりの心や郷土の食文化、食に関する感謝の心などを育む幅広いものであり、食を通して人づくりにあると考えています。

町長 食育とは、単に望ましい知識を身につけることだけでなく、一家団らんを通じて思いやりの心や郷土の食文化、食に関する感謝の心などを育む幅広いものであり、食を通して人づくりにあると考えています。

本木勝利 議員



鷹山夢街道 PART V 最上川

町長 最上川は貴重な財産

胸に抱く最上川とは
本木 町長は、本町に最上川という大きな財産があると言っています。最上川をどのようにとらえているか伺います。
町長 本町の中央を貫流する最上川は、貴重な財産であり、資源としてとらえ、最上川の持つ魅力と力をま

水質浄化に取り組む萩野地区の実態は
本木 最上川は、本町の河川の全てが注ぎ込み、身近な河川をきれいにすることは、最上川をきれいにすることです。昨年から萩野地区は、地区全体で河川浄化に取り組みましたが、実

態を伺います。
町民税務課長 萩野地区は、全戸が協力して、米のとぎ汁をはじめ汚れたものを流さない活動をしています。また、EM菌を使い、EMぼかしやEM団子を活用して水質浄化に取り組んできました。

流域の歴史・文化の掘り起こしは
本木 県は、最上川の世界遺産登録に向け、精力的に

取り組んでいます。本町においても流域の菖蒲、下山、佐野原、大瀬地区では、自ら歴史・文化を掘り起こそうとの運動が広がっているが、どのようにとらえていますか。
町長 流域の集落では、最上川の価値を中心に地域を見つめ、地域に誇りを持つ動きが、ふつと湧き出ています。このようなことは、地域づくりの基本であり、大いに期待をしています。



五百川溪谷

まちづくりの求心力は最上川
本木 本町では、平成20年度を「最上川年」と位置づけ、集中して最上川に関するイベントを行ってほしいかと思いますが、いかがですか。
町長 本町が発展するには、最上川は貴重な財産である。これを真正面からとらえ、町民と一体感が導き出せる形にしたいと考えています。具体的には、今後検討をしていきます。